

市の考えを問います

一般質問

6月13日（4議員）

高木 正（一問一答）……………10 ページ

1. 次世代へつなぐための今すべき健全な行財政基盤確立を目的とする検証と課題を問う

山口 律理（一括後一問一答）…11 ページ

1. 豪雨被害について
2. 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について
3. なめがた地域医療センターについて
4. 新庁舎建設について
5. 給食費及びスクールバスの無償化について
6. 手賀地内の行方太陽光発電事業について
7. 誕生祝金について
8. 長寿祝金について
9. 白帆の湯、北浦荘について

伊勢山 仙寿（一問一答）……………11 ページ

1. 令和5年台風第2号の接近に伴う大雨の対応について
2. 健康寿命とスポーツについて
3. 市内交通の現状と今後の課題について
4. スクールバスの運行について
5. イノシシ被害の現状と今後の課題について

宮崎 和洋（一問一答）……………12 ページ

1. なめがたペイ（行方市面的キャッシュレス事業）の行先について
2. 行方市の選挙のあり方について

6月15日（4議員）

貝塚 俊幸（一問一答）……………12 ページ

1. 消防行政について
2. 定住・移住について
3. 環境美化について

小野瀬 忠利（一問一答）……………13 ページ

1. 子育て支援
2. 教育行政
3. 本市職員の状況

高野 市郎（一問一答）……………13 ページ

1. 市道及び排水整備について

阿部 孝太郎（一問一答）……………14 ページ

1. 人口減少対策に関して
2. 財政運営に関して
3. 地域防災に関して

6月16日（2議員）

高橋 正信（一問一答）……………14 ページ

1. 将来に希望の持てるまちづくりについて
2. 市民の命と暮らしを守る対策について

小林 久（一括後一問一答）…15 ページ

1. 統一地方選挙
2. 各種要望に対する解消
3. 市民への説明の徹底

10名の議員が登壇し、執行部に対し方針等を問いました。紙面の内容は、質問・答弁共に議員自らが要約・執筆、寄稿したものを掲載しています。

問 消防団（羽生）を中心とする地域防災のあり方は。地域の生活・安心・安全・命を守るのは、行政の基本中の基本である。なぜ1年以上この地区への行政の無責任状態が続くのか

答 市長 情報を整理し、地区の区長を中心とした流れの中で解決したく思います。

問 ポンプ積載車の車検切れ、自賠責保険切れ車両の処分、対応は

答 総務部長 現在、警察署からの連絡がございません。

問 なめがた地域医療センターの継続について問う

答 市長 維持できるようにと話はいただいております。

問 庁舎建設について

答 市長 合併特例債延長も含めて、議会とも進めたく思います。

次世代へつなぐための今すべき健全な行財政基盤確立を目的とする検証と課題を問う



高木 正 議員

問 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について問う

①4千万円、3頭のキリンを主体とした動物園は、事業リスク、財政リスク、社会性からみても、中断・中止すべきと思う。また17年間の債務負担行為（先食い）20億円は無意味であり、将来への危機を感じる

答 市長 契約しており、変更するという考えはございません。

問 税金の使い方としては無謀である

答 市長 長期契約で展開しているための施策であります。

問 度重なる防水、耐震、風力、強度不足、耐火問題、そしてここに至るの資材、人件費の値上がり（約3億円）等々の設計変更協議中の現在、11月末開園は大丈夫か。また、その責任を問う。大変厳しい財政、少子高齢化、身の丈に合った市民のための政治、行政を求めます

答 市長 5年から10年以内において、黒字化の計画である。地域周辺の経済活動の活性化を図るためのものであります。そのための方策であります。

問 道の駅の手数料4千万円も含め、何もしていない中で年間1億円支払っている。税金の使い方としてはおかしいと思うが

答 （時間切れにより答弁なし）



山口 律理 議員

Q 豪雨被害について

問 被害対策と復旧について伺う
答 市長 農作物等の被害については、調査中でありま。本復旧を的確に行つてまいります。

Q 霞ヶ浦ふれあいランド再生整備事業について

問 動物園は中止し、道の駅大規模化に振り替えた方が良いのではないか
答 市長 現在、変更の予定はございません。

問 市長は、霞ヶ浦ふれあいランド株式会社の代表取締役兼に刑事処分歴があるのを知つたか
答 市長 議会において、議員の質問の中で存じ上げたものであります。
問 基本設計、実施設計は、議員にコピーを提供しているのか

答 市長 コピーでの提供は行っておりません。

Q なめがた地域医療センターについて

問 なめがた地域医療センターの閉院危機をどう打開するのか
答 市長 今後も現状の医療体制を維持していただけるよう、J A厚生連に対し要望を行つてまいります。

Q 新庁舎建設について

問 なぜ北浦、玉造庁舎の耐震診断を断念したのか
答 市長 今回のことについては断念したとは言えません。

Q 手賀地内の行方太陽光発電事業について

問 手賀地内の行方太陽光事業について、東急不動産の入札提案書にはパネル設置後は市内特別目的会社を設置するとあったのに設置していない。なぜ許したのか
答 市長 今後、目的会社を作つていくことになるかと思ひます。

Q 令和5年台風第2号の接近に伴う大雨の対応について

問 被害状況と補償、今後の復旧スケジュールについて伺う

答 市長 大雨において、6月8日現在、人的被害軽症者2名、床上浸水1、一部破損が1、その他土砂流出、道路冠水、倒木等の被害報告が264件ほど上がつています。農作物の被害については現在調査中です。

答 経済部長 被災を契機に営農が困難にならないよう、農業者の皆さんに寄り添つた形で、予算との関係もございすが、いろいろな角度から検証・検討してまいりたいと思ひます。

答 建設部長 大雨の対応については、職員によるパトロールを実施し、カラーコーンや注意喚起の看板を設置、通行規制を行いました。冠水により、通行に支障のあつたところは、仮設ポンプの設置、



伊勢山 仙寿 議員

✓ や地元消防団の協力をいただきながら排水作業を行い、解消に至りました。優先度の高い箇所から着工の準備を進め、できるだけ速やかに、復旧に取り組んでまいります。

Q 健康寿命とスポーツについて

問 健康寿命とスポーツについて
答 市民福祉部長 健康寿命とは、健康上の問題がなく日常生活を自立して送れる期間を言つていきます。今後も高齢者の皆さまが健康で生きがいをもって地域社会に参加できるように、今回はスポーツを通してですが、住民相互が支え合える地域共生社会の実現に取り組みます。

Q 市内交通の現状と今後の課題について

問 現状と見直しはあるのか
答 企画部長 引き続き、路線バスの利用動向を踏まえつつ、市内観光施設や商業施設などとの連携、近隣自治体や運行事業者などとの協議調整を行い、利便性向上に向けた施策を講じ、来訪者の増加を図つてまいります。



宮崎 和洋 議員

Q なめがたペイ（行方市面のキャッシュレス事業）の行先について

問 NAMEGATA Pay とは何か

答 政策秘書課長 面的キャッシュレス・インフラ再構築事業は、地域における消費喚起の基盤構築を実現するために、商店街の振興組合や観光協会、以下地域団体が一体になって行うキャッシュレスに向けた取組を支援するものです。

問 面的キャッシュレス構築事業は、地方創生臨時交付金を使ったのか

答 企画部長 別の補助金制度を使用しました。

問 この事業にいくらかかっているのか

答 政策秘書課長 合計約3600万円で、内訳は、iPad 100台・Android 50台で合計約630万円、アプリ構築

✓で約200万円、カード製作4万5千枚で約200万円、システム構築が約1300万円、その他です。

問 購入したiPadやAndroidは今どこにあるのか

答 企画部長 加盟店舗から回収し、麻生庁舎に保管してあります。

問 アプリを見たことがないが

答 企画部長 現在運用はしていません。

問 この事業は頓挫しているのか

答 企画部長 事業を再構築していきたいと思っています。

問 この状況を副市長はどうお考えか

答 副市長 全体の事業の進捗の計画が今となっては甘かった部分もあったと思っています。

問 この状況を市長はどうお考えか

答 市長 システム構築は慎重にならざるを得ないと思っています。

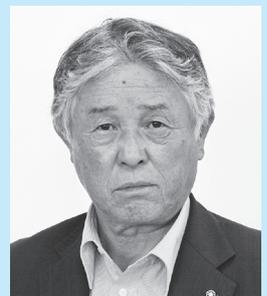
問 今後のスケジュールを伺う

答 企画部長 できるだけ速やかに実施したいと考えています。

問 面的キャッシュレス事業として国に申請した方法として適切か

答 企画部長 今後、再構築を進めるなかで、当初の目的に合った活用を検討していきます。

Q 消防行政について



貝塚 俊幸 議員

問 消防団員が全員退団された地域の団員の再募集、組織のあり方、消防行政について伺う

答 市長 羽生地域の区長と、この問題が起きてからお話をさせていただきました。再募集は行っていません。今後、今月の災害が起きそうなくらい大雨が降ったとき、いろいろな災害が起きる可能性があるということを鑑みたならば、私も地域の生命財産を預かる消防団の設置者としてタイミングを見計らひまして、お願いに上げられればと思っております。

問 消防団の統合再編成を考える時期、必要性が来ていると思うが考えを伺う

答 総務部長 本年度において、消防団のあり方について検討を行う予定です。各部については、現在、人数制限は設けていません。

✓ 条例上、1450名と消防団員の定数は決まっていますが、人数が一桁の部もあります。今後のあり方検討の中で、消防団、行政区、民生委員等と連携し協議させていただきます。

Q 定住・移住について

問 旧玉造小学校の跡地の利用について、以前、集合住宅一戸建て分譲等を考えていたということだが、今後ぜひ前向きに検討していただきたい。現在、この跡地はどのように利用しているか。

答 企画部長 2020年に地元区長の皆さまに説明会を実施しています。現在、旧玉造小学校の跡地はフィルムコミッション関係のロケ等に一部使用しています。

問 空き家対策について、玉造地区の地方銀行付近の建物について伺う

答 総務部長 この場所につきましては、特定空き家の指定をしており、特定空き家に認定、令和3年3月に勧告に引上げをしています。市において、安全環境対策で、年1回水を抜いています。所有者には通知を出し、適正な管理対策を講じるよう依頼しています。

子育て支援

問 子育てするならなめがたの取組について

答 市民福祉部長 妊娠期から子育て期まで切れ目なくサポートできる体制を整え、妊産婦及びゼロ歳から18歳までの全ての児童とその家庭のさまざまな相談に対応できるように、実情に応じた支援につなげていきます。令和5年度は、物価高騰による子育て世帯の経済的支援策として、元氣いっぱい子育て応援支援金を支給しています。

問 保育施設の現状、課題について

答 市民福祉部長 社会問題である人口減少や少子化の影響で、本市の保育所も利用者の減少が続いています。定員割れの現状が続くことで、施設の経営面が厳しくなることも懸念されるため、令和5年度から定員の変更をしています。今後も出生数やゼロ歳から



小野瀬 忠利 議員

5歳児の人口等を確認しながら、施設の定員基準の見直しを行っていきます。こうした状況に、空きのある施設を活用し、子育て相談事業や未就園児を定期的に預かることを検討していることもあり、子育て世帯の実情を把握し、支援に対し柔軟に対応してまいります。今後、少子化で保育所やこども園に通う方も少なくなると想定されています。まずは定員の管理を考えていますが、経営が難しい場合には、子育ての関係で、市で何かを考えなくてはいけない場合も出てくるのではと考えています。

本市職員の状況

問 職員の採用状況について

答 総務部長 令和4年度の職員採用試験は、受験者を確保し受験しやすい環境を整えるため、試験方法や受験資格等を一部見直しで、実施しました。社会人枠の受験資格については、一般事務職は5年以上勤務経験がある方、専門職は有資格者かつ5年以上の実務経験がある方としました。即戦力職員として、民間企業や行政機関等での経験を生かして活躍しています。

市道及び排水整備について

問 市道(麻)13号線の蒲縄地区の排水について

答 市長 要望路線への対応は、地域住民の安全・安心を確保する上で重要と認識しています。

答 建設部長 当該路線は、事業化に至っていませんが、降雨後の水溜りが解消せず、路面の悪化も進行していること、また通行に支障をきたしていることを確認しました。

問 市道(麻)1435号線の本年度工事について

答 建設部長 当該道路は狭隘道路整備等促進事業により、計画延長215メートルとなっており、本年度は、水稲収穫後に約80メートルの工事発注をすることで、準備を進めています。



高野 市郎 議員

問 市道(麻)1435号線の残区間の工事について

答 建設部長 本年度中に地権者との道路用地買収、補償交渉を進め、工事予算の確保を図ります。

問 前川排水区雨水整備事業の全体計画と進め方について

答 建設部長 平成29年度に霞ヶ浦水郷流域関連行方市公共下水道事業計画を変更したことで、社会资本整備総合交付金事業に位置付けられました。事業の全体計画は、前川本川合流部から麻生公民館裏までの延長約1.1キロメートルの事業で、全区間を3つに分け、下流から順次整備を進めていきます。先行区間として、前川本川合流部から上流側に約300メートルの区間の整備を進め、前川流域の治水安全向上に努めたいと考えています。

問 先の台風第2号による、6月2日から3日にかけての雨量、また前川の水位はどうであったか

答 建設部長 麻生庁舎の観測では、当時の総雨量は265ミリでした。前川の水位については、一乗寺付近の前川本川の余裕は約1メートルあることを確認しました。



阿部 孝太郎 議員

人口減少対策に関して

問 行方市の人口動態や人口対策の成果と今後の計画について

答 市長 令和3年の出生者数は119人で、人口減少に歯止めがかからない状況が続くなか、若者や子育て世代など一人を呼び込み、安心して子どもを育てられるまちづくりに向けた施策が重要となります。

答 企画部長 合併以降18年間で、9872人減少しています。令和3年は、824人が減少している状況です。人口減少緩和のため、本市は定住移住計画を策定しました。雇用の確保、子育て支援、住生活環境の向上、情報発信の強化を基本目標に、結婚支援策や定住促進に取り組んでいます。その結果、移住相談や行方市定住移住助成金は増えていますが、婚姻

数増や転入超過には至っていません。居住地選択で選ばれるよう、より発展的な事業を検討中です。

地域防災に関して

問 防災情報の発信にLINEは活用されないのか

答 総務部長 現在、防災情報にLINEは使用しておりません。登録者が多いので、今後検討見直しを行い、情報発信に活用したいと考えます。消防団員に対する連絡に関しても、検討・検証していきたいです。

問 消防団の今後の運営に関して

答 市長 合併などの点も踏まえて、行方市にとって最善の形を考えていきたいと思えます。

答 総務部長 市では消防団のあり方について、処遇改善や体制の見直しを消防団、民生委員、区長と共に検討し、消防力を低下することなく持続していくために検討します。消防団の合併についても地元の意向を聞きながら協議します。



高橋 正信 議員

将来に希望の持てるまちづくりについて

問 霞ヶ浦ふれあいランドリニョールオープンの中で、あの観光物産館こいこいのお食事処で皆さん満足するかといったところも満足できる状況ではないと思う。もっと、より多くの方を呼び込めるお食事処がどうしても必要であると思うが、その方向性を見いだせているのか伺いたい

答 市長 おっしゃるとおり、観光物産館こいこいだけでは足りないと思っています。したがいまし、リニョールの最中もしくはリニョール後でも良いので、食事も含めたくつろげる場所をつくり上げるよう、事業者にも注文させていたいただいているところです。場所がどのようになるのか、旧玉水苑が使えるかどうか、リニョールするの、もしくは壊した

後にもう一回建て直すのか、いろいろなケーススタディが考えられます。その点も踏まえ、きちんとつくっていくよう指示していきたいと思っています。

問 庁舎建設は今までどおりの形では全く進んでいかないと。また、現在、物価高騰の折、建築資材等の価格が跳ね上がって大変な状況である。このことをどのように思い、これから先どのように対処しようと考えているのか所見を伺う

答 市長 私の考えとしまして、できるだけ市民に負担をかけたくないということが基本の考えです。市の財政にも当然直結するわけですし、建て方とか改修とか、それが良いのかも一度考えなければならぬ。そうしますと、何年持たせればいいのかということも考えなければならぬと思います。正直言いますと、25年から30年もって、その間、基金をためて再度その次のステップ、この後地域の人数が減ってきた中で、ダウンサイジングもあると思っています。できるだけ負担をかけない手法を、議会と市民の皆さまにご説明しながら進めていくということになります。



小林 久 議員

統一地方選挙

問 投票率の低下に対する思い
答 選挙管理委員会書記長 本市に限らず、投票率は長期低落傾向が続いていることから、政治への関心が薄らいでいると推測できます。しかし選挙は、民主主義の基盤をなすもので、国民が主権者として政治に参加する重要かつ基本的な機会です。選挙管理委員会は、今後も有権者が1票の権利を大切に行使するよう、児童生徒への主権者教育や政治常識の向上を図るための啓発、制度の周知に努めます。

各種要望に対する解消

問 生活道路狭隘部分の解消
答 建設部長 生活道路の整備は、未着手路線が191路線と、

整備が追い付いていない状況です。改良舗装は建築基準法の第42条第1項の定義により、幅員4メートル以上を確保するよう整備を進めています。区間や用地取得補償の状況にも異なりますが、事業化から完了まで、おおむね8年程度の期間を要しています。令和4年度の事業実績額は、1億7千万円余りとなっています。

問 排水整備について
答 建設部長 本市では、道路排水が未整備の区間が多く、流末も一部脆弱さが見られ、整備を行うには課題があります。排水能力や経済性を考慮して計画することから、市においては管理規模が広範囲で、全域の計画には至っていないのが現状です。緊急性の高いところから随時測量設計業務等を行い、順次工事発注できるように、計画的に取り組んでまいります。早期の整備要望に応えられるよう、財源の確保に努め、常に良好な状態に保ち、道路環境の適切な維持管理に努めたいと思っております。



議会トピックス

表彰されました

(全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から)

この度、市政の振興に努めた功績を称え、全国市議会議長会から2名、茨城県市議会議長会から5名の議員に表彰状及び感謝状、並びに記念品が贈呈されました。

◆全国市議会議長会表彰・茨城県市議会議長会表彰

(市議会議員 20年)

岡田 晴雄 議員 高木 正 議員

◆茨城県市議会議長会表彰 (議長 4年)

岡田 晴雄 議員

◆茨城県市議会議長会表彰 (副議長 4年)

大原 功坪 議員

◆茨城県市議会議長会表彰 (議員 8年)

小野瀬 忠利 議員

阿部 孝太郎 議員

◆茨城県市議会議長会感謝状 (県市議会議長会の運営 等)

岡田 晴雄 議員



(左から)

阿部 孝太郎 議員、岡田 晴雄 議員、大原 功坪 議員、高木 正 議員、小野瀬 忠利 議員

今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。